

コロナに負けるな!



コロナでトホホの耳鼻科
L.伊東 祐久



令和3年も令和2年に引き続きコロナに振りまわされた1年でした。特に病院に行けばコロナに感染する?という怖れのためか受診抑制がおり、特に小児科と耳鼻科は大打撃を受けました。これは全国的な傾向でした。特に耳鼻科では患者にマスクを外して貰わないと診察が出来ず、咳などされたらもろに飛沫を浴びるので、マスクは勿論、フェースシールドを着用して診察をしています。(写真参照)私の診療所の収益は令和1年に比べて令和2年は対前年比70%、令和3年も対前年比70%と目も当てられない落ち込みで、それまで一日平均100名以上来ていた患者がコロナの流行に伴い、一日60人がやっと予想以上の影響を被りました。開業以来毎期黒字決算でしたが、平成2年度初めて赤字決算となり、平成3年度も助成金や補助金を貰っても赤字決算となりました。当然ながら固定経費の削減、定期昇給の停止、役員報酬の削減、断腸の思いでの人員削減も余儀なくされました。憎き新型コロナです。患者が少なくなると当然時間に余裕が出てきましたが、今まであくせく働いてきたので時間の使い方がわかりません。患者がいらないからと言って病院を離れる事も出来ず、ぼーっとしている時間が多くなり、職員に「脳が腐ってきた、脳が腐ってきた」と愚痴っていました。昨年末、漸くコロナの終息の灯りが見えたと喜んだのもつかの間、オミクロン株が猛威を震い始め、テレビのニュースをみても一喜一憂しています。感染症の流行は紀元前からあったようで、人間はウイルスや細菌との戦いが今後も永遠に続きます。ネットでは根拠のない情報が溢れていますが、大事な事は正確な情報を得て、正しく恐れる事でしょう。一刻も早くコロナが終息することを願うばかりです。

編集後記

今回、会員の皆様コロナの発生に伴い、会社または個人としてどのような影響を受けたかについて会報に載せる原稿を頂きたいとお願いしました所、多くの原稿を頂きありがとうございました。原稿を参考にして頂き会員の皆様の今後の参考になれば幸いです。

会員・出席・PR情報・IT委員長 / L.徳重 初男

コロナ禍で皆く行っている仕事内容について
L.瀬ノ口 耕治

私の会社はセキュリティ製品の製造を行っています。生産は日本国内と海外に委託生産している企画メーカーになります。イタリア、台湾、韓国、中国に10社程ありますが、2年間訪問していません。2年前は毎月どこかの国へ出張していました。鹿児島本社と東京、大阪営業所で毎月社員の移動がありました。が全てリモートで仕事している為、海外、国内の旅費交通費と賃貸料金展示会の出展費、接待交際費、人件費等の経費が大きく削減出来ています。お客様の商談も全てメールです。広報活動も動画サイト、HPで日本全国へ広報出来るので、問い合わせが大幅に増えています。当社が開発した LC-105 (デジタルロック) は非接触型カードロックですが、ホテルはこのタイプのロックに交換すると助成金制度(75%)の補助金が出ます。昨年の11月、12月で1年分を売り上げました。今年は、開き扉がリモコンで制御出来るドアオペレーター装置を開発中です。コロナ禍は非接触で扉を開けたいとの需要が増えてきている為です。全国の自治体はコロナ禍で様々な助成金制度を実施しているので活用して行きたいと思っています。簡単ですが何か参考になりましたら幸いです。

2022 Overcome the CORONA!



鹿児島黎明ライオンズクラブ 会報【黎明季報】

2021~2022 vol.2 (2022年2月発行)

発行者:瀬戸山 正一

編集人:会員・出席・PR情報・IT委員長 / 徳重 初男

◎事務局・例会場

〒892-0826 鹿児島市呉服町6番5号 マルヤガーデンズ事務館3F

TEL:099-222-5336 FAX:099-222-5350

E-MAIL: ka-reimei@samba.ocn.ne.jp

◎例会日:毎月第1・第3木曜日 19:00~

We Serve

ライオンズクラブ国際協会 337-D 地区 鹿児島 R-1Z

鹿児島黎明ライオンズクラブ

クラブ会長スローガン

全員が結束して楽しい奉仕 WE SERVE

会長 L.瀬戸山 正一

2021>2022
黎明季報

REIMEI REPORTS vol.2



共に乗り越えよう

3クラブ合同例会



入会式



L.樋口 翔馬

昨年10月に鹿児島黎明LCに入会しました樋口翔馬と申します。平成28年から弁護士をしております。昨年4月に樋口法律事務所を開設し先輩弁護士からのご縁で狩生豪士にスポンサーをお引き受けいただきました。例会や早朝清掃でお会いする先輩方からは、いつも優しくお声をかけていただき大変感謝しております。仕事としては個人の方から依頼された民事事件(契約トラブル、離婚、相続、損害賠償請求、債務整理など)が主です。我々の畑である裁判の場では、コロナ禍の影響で、オンライン化が加速しました。功罪はつきものですが、これまで気づかれなかった利便性が確認されたのも事実です。同じく多くの分野で、コロナ禍の経験から新たな学びがあったのではないのでしょうか。深刻な情勢をただ嘆くのではなく、むしろこれまで以上に他人のことを思いやり自ら判断し行動するという姿勢が再確認されている時代です。周りの先輩方からは、日々そのような姿勢を学ばせていただいているところです。これからもどうぞ宜しくお願い致します。

第34代会長 L.瀬戸山 正一

コロナが治まったと思えば、1月よりオミクロン株が登場しまして猛威を奮っています。1Z、2Z 合同新年会も中止に追い込まれてしまいました。今後もどの様になっていくのか予想もたない状況であります。今まで同様に鹿児島市でステージ2の段階で例会は中止にさせていただきます。ご協力をお願い申し上げます。ただし理事会に付きましては審議事項等もありコロナ対策を施した状態で開催をする事もありますので、宜しくお願い致します。私も在籍34年になり初めての例会で「また会う日まで」を皆で手を繋ぎ歌った事が何故か印象に残っています。例会に限らず姉妹クラブや、合同例会、丸周年での懇親会の最後に大きな輪を作り皆で手を繋ぎ歌う訳ですが、時々このメンバーでまた会えるのを何時になるのかな？と思う時があります。ライオンズクラブの歌よりもまた会う日までの方が好きだと思います。皆様は如何でしょうか？今期は地区 LCIF 委員長を仰せつかり、7月に早速100% 100 ドル寄付に賛同を頂き、また脇黒丸ライオン狩生ライオンには1000ドル寄付も頂きありがとうございました。世界中の難民の方や、青少年育成の為に有効に使用されると思います。ちなみに337D 地区では毎年5000ドルを32回合計で160000ドル寄付し続けているライオンがおられます。表には殆ど出てこられませんが、本当の WE SERVE の実践しておられると尊敬いたします。残りの半年を皆様方のご協力を頂き無事に済ませて、次期脇黒丸会長に引き継ぎたいと思います。狩生幹事・下野会計また会員全員のご協力宜しくお願い申し上げます。次期は35周年です、みんなで参加して、今までに無い周年事業が出来る様に頑張りましょう！

幹事 L.狩生 豪

会員の皆様にはいつも暖かいお言葉を頂きながら今期幹事を務めさせています。コロナ影響も少なくなり例会も再開できとても嬉しくライオンズライフを過ごしております。また新入会委員である樋口ライオンにも積極的にクラブ参加をして頂き若き樋口ライオンに元気とパワーを感じております。早くも半期を終えますが、瀬戸山会長と黎明ライオンズクラブを盛り上げられるよう頑張ります。ZC 脇黒丸 L と他クラブ例会訪問を一緒にまわらせて頂きとても良い経験となりました。会員皆様、今後とも宜しくお願い申し上げます。

会計 L.下野 勝治

34 期会計を賜って半年が過ぎました。コロナも少し落ち着き例会等も少しずつですが落ち着きを取り戻して運営等も順調に実行できている次第です。年間の行事等は予定の半分も行っていない状況です。ですが、来季クラブ結成 35 周年に向けて予算組み合わせ及び事業計画を鋭意行っている最中です。35 周年の成功に向けて下支えできるように頑張っている次第です。皆様の協力を支えに残り半年も宜しくお願い致します。支部結成の準備等は順調に進んでおります。支部結成の折に沢山のメンバーでスタート出来るよう、勧誘のほう何卒宜しくお願い致します。

1Z・ZC / 第一副会長 L.脇黒丸 一典

おかげさまでゾーンチェアパーソンを拝命し無事半期を終える事出来ました、皆さんに心からお礼を申し上げたいと思います。まだまだ残り半期有りますご協力宜しくお願いします。また、来期当クラブ鹿児島黎明 LC 結成35周年を迎えます。ぜひ皆さんと心をつなげて、来期の結成35周年を成功さす為に力をお貸し頂きます様お願いします。新たなオミクロン株感染者が増え、今後のライオンズ活動不安ですが、「虎穴に入らずんば虎子を得ず（危険を避けてばかりいては大きな成果は得られない。）」と、ことわざ有ります。工夫を凝らしコロナの為に消火不良で終える事無く、感動ある社会貢献を心がけ、「We Serve」を楽しみましょう。私6巡目の今年の干支トラ年でもあり生涯現役にこだわり笑顔の多い楽しい年としたいと思います。「虎は死して皮を留め、人は死して名を残す（虎が死んでも立派で美しい皮を残すように、人は死んだあと名が残るような生き方をしたいものだ。）」本年も良い年になるよう、今一度35周年を成功さす為に会員一丸となって準備にご協力をお願い致します。

